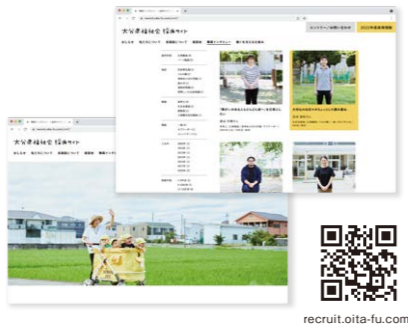


大分県福祉採用サイトがオープンしました!

大分県福祉会の採用サイトが完成しました。各施設について、職員座談会や職員インタビューなど盛りだくさんです。福利厚生や評価、給与など、働きやすくなるための仕組みも分かる内容になっています。各施設で撮影した素敵な写真も必見! 来年度に向けた応募者の反応も好調のようです! 私たち職員にとっても、改めて法人の雰囲気や他施設、お互いのことを知る機会になります。ぜひチェックしてみてください。



TOPICS

森の木 お楽しみの「おやつウィーク」

毎月第3週は「おやつウィーク」。1人700円好きなおやつを購入できます。週初めにたくさん食べすぎて、週末には早々に足りなくなる子どもたちもいます。気に入ったおやつを食べるようすはとてもほほえましいです。



滝尾保育園 エリック・カールのお出迎え

著名な絵本や作家をテーマに3ヵ月ごとに展示物を変える玄関の棚。10月は、絵本作家エリック・カールにちなんだ職員手づくりの作品を展示しました。豊かな色彩が、明るく楽しく1日をスタートさせてくれます。



うえの園 「新任さんいらっしゃーい」

感染症予防のため中止になった期末反省会や職員旅行の代わりに、ZOOMを使った交流会をしました。新任職員さんとの親交を主な目的として、自己紹介やビンゴゲームなどのレクリエーションは予想以上に盛り上がりました。



イチローの部屋 第3回 「デザイン経営」を実現する土台

本コラムの第1回で、ブランディングを始めることをお伝えしました。こうした取り組みは「デザイン経営」と言われています。デザインの力を借り、大切にしている価値を可視化したり、潜在的なニーズを掘り起こしたり、既成概念にとらわれない事業を実現することです。ただし、その土台となる組織(つまり私たち)に、受け入れる器が整っていないければ、価値や魅力を内側にため、外にあふれ出ていくことはありません。役員やブランディングチームだけでなく、組織全体で取り組む必要があります。採用Webサイト、社内報、「別府厚生館」や「森の木」の

改修、「滝尾保育園地区の家」などのプロジェクトに関わる職員も徐々に増えています。今後をより良くするうえでどれも重要な事業です。同時に、日々の現場はもっと大切です。まずは職場内での小さな気づきを職員同士で共有していくことから始めましょう。その気づきから生まれる課題意識や小さな夢が、大きな夢へと少しずつもつなげていくことで、組織や福祉、社会全体を変えたいと考えています。情熱と使命感にあふれる職員のみなさんに、わくわくするような未来づくりに関わっていただくための体制づくりも進めています。詳細はまたお伝えしたいと思います。

思い起こされる言葉

以前、元上司の若いころの経験談を聞く機会がありました。担当する業務を進めていくうえで、上司の指示と折衝先とのほざ間で難しい対応を迫られたそうです。そうした経験から何を学んだのかと尋ねると、「よい結果を出すために臨機応変に考えることを学んだ」と言われました。現場にいますと、日々、難しい判断や対応を迫られ、「これで良かったのか」と振り返ることがあります。そのようなときにいつもこの言葉が頭をめぐります。

別府厚生館館長 あんどう かずる 安東 一夫

別府厚生館 秋の夜に手作り竹灯籠

風が涼しくなり、日が暮れるのが早くなってきた頃、親子で竹灯籠を手作りしました。火を灯すと、ろうそくの柔らかな光が揺れて、園庭に幻想的な風景を作り出します。利用者と職員も一緒に、素敵な秋の夜のひとときを過ごしました。



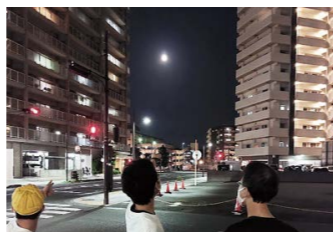
明野いのみ保育園 わたしのワンピース

2歳児クラスは『わたしのワンピース』という絵本から派生した遊びが流行っています。ワンピース型を空や草むらなどのいろんなところに当て、「ここにもあるよー」と新たな柄を見つけます。子どもたちのさまざまな発見がおもしろいです。



清明あけぼの学園 秋と言えば「お月見」

毎年、中秋の名月の日にみんなでお月見をしています。ベランダから見る予定でしたが、天気も良いしせっかくならと散歩がてら隣の公園まで。美味しいお団子を食べ、綺麗な満月を見て、おのおの考えた俳句を詠み、秋を満喫しました。



社会福祉法人 大分県福祉会 社内報 ぎゅっ 第3号  
発行日 2021年12月15日 / 発行元 社会福祉法人 大分県福祉会 / 制作担当者 藤岡 大樹、安部 清、藤原 美咲、宮成 俊佑、後藤 美佳、早田 龍世、矢野 智美、浅利 桃子、重田 綾、山本 玲香、新川 純文 / 編集 BERPU PROJECT / デザイン UNA / design farm  
連絡先 syanahou.or@gmail.com



社会福祉法人 大分県福祉会 社内報  
ぎゅっ  
vol.03  
2021.12

特集 うえの園

1人ひとりの生活の幅を広げる

取材を通して、「うえの園の事をもっと知りたい」と感じました。うえの園のこやあかい雰囲気を知ってもらえたら嬉しいです。(山本玲香)

# 1人ひとりの生活の幅を広げる

今回は、障害者支援施設「うえの園」取材しました。「明野しいのみ保育園」に勤務する社内報制作メンバーが、「うえの園」のようすや職員の姿を新鮮な視点でお伝えします。



風にあたって開放的な気分になると足取りも軽快に

## 小規模施設だからできる 細やかな支援

「うえの園」は、主に知的と視覚・聴覚の重複障がいのある18～73歳の18名が入所、9名が通所しています。職員30名で、生活全般のサポートをしています。サービス管理責任者の平安 恭子さんは、「家のような居心地の良い雰囲気のなかで、新たな挑戦や刺激のある環境を提供することで、利用者1人ひとりの生活の幅を広げたい」と言います。たとえば、月1回の「社会アプローチ」活動。利用者3、4名に職員2人が付き添い、おやつや飲み物を外で買って食べたり、散歩をしたりします。いつもと違う環境は気分転換になり、自ら選択できる状況にもみんなわくわくしているそうです。職員も「利用者の喜ぶ姿が見られて嬉しい」と話していました。職員と利用者が家庭のように食卓を囲む「だらん食」の機会もあり、そのときは焼肉や手巻き寿司など、いつもよりちょっぴり贅沢なリクエストにも応えています。



買い方にそれぞれの個性が見えておもしろい

こうした細やかな取り組みができるのは、小規模施設ならではの、でも、現場はさぞ大変なのでは？

## 地域に「あってよかった」と思ってもらえる施設へ

関谷 眞佐子園長は、「障がいのあるなし関係なく、みんなが笑顔で過ごせる場所にしたい。地域に『あってよかった』と思ってもらえる施設を目指しています」と言います。



外で飲むコーヒーはなんだか格別！

当初は、障がいのある方々の施設＝大変な仕事という印象がありましたが、利用者が楽しめる活動を考える職員の姿を見ると私たち保育士とも重なり、同じだと気づきました。そうした風景やようすが、もっと地域にも伝わり、広がっていくといいなと思いました。

(取材:明野しいのみ保育園 重田 綾・新川 絢女・山本 玲香)

## ----- スタッフ紹介 -----

 サービス管理責任者 ひらやす きょうこ 平安 恭子さん おいしいものを食べることが好きです。 好物はモンブランケーキ♡	 栄養士 かい なおほ 甲斐 直穂さん 食べること、散歩、スポーツ観戦が好きです！
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------


**どんな仕事？**  
**サービス管理責任者**

利用者の個別支援計画を作成し、適切な支援がおこなわれているか確認します。職員や関係機関と連携しながら、より良い方法がないかを指導・アドバイスします。

6:30 起床、朝食介助・歯磨きや服薬の支援	9:30 健康観察、午前の活動(軽運動・創作活動・散歩など)	11:30 早出と遅出の職員の引き継ぎ	12:00 昼食介助・歯磨きや服薬の支援	13:30 午後の活動(ドライブ・DVD鑑賞・朗読など)、入浴支援、生活介護	15:00 おやつ、事務作業	17:30 夕食介助、歯磨きや服薬の支援	21:00 退勤(遅出の職員)	22:00 就寝
---------------------------	-----------------------------------	------------------------	-------------------------	-------------------------------------------	-------------------	-------------------------	--------------------	-------------

# マイブーム 教えてください！

私のマイブームは…  
**プラモデルを作ること**  
 です！

教えてくれる人  
  
 清明あけぼの学園  
 ひらの だいすけ  
 平野 大輔さん

幼少期からプラモデル作りが好きでしたが、器用なわけではなく、次第に作れるようになりました。ステイホーム中はじっくり取り組むことができ、力作の機動戦士ガンダムに登場する「HG 1/144ペーネロペー」が完成。1つひとつのパーツが大きく、塗装に苦戦しました。随所にあるピンバイス(細いドリルのような工具)で彫ったオリジナルのくぼみがポイントです。趣味の合う方お声かけください。



HG 1/144 ペーネロペー

**最近のガンブラ事情**  
 コロナの影響で、在宅でできる趣味の人気が高まっていますがガンブラにもその流れが来ています。おかげで専門店の在庫はスッカラカン(泣)。脚光が当たるのは嬉しいのですが、注目されすぎるのも困りものです…

## だいふく文庫

40文字以内

### 日本一短い手紙 涙

財団法人 丸岡町文化振興事業団・編  
 中央経済社

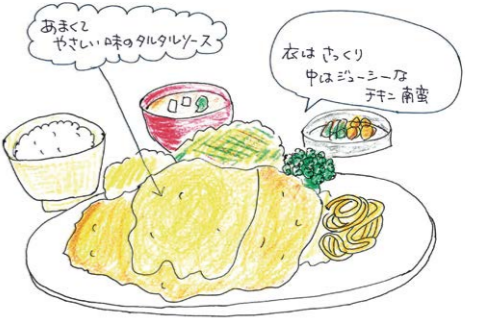
選・別府厚生館 やまがみ 山上 さとみさん

「日本一短い手紙」は、40文字以内でしたたための手紙のコンクール。紹介するのは、平成22年度の「涙」に寄せられた作品をまとめたものです。短い1編からあふれるさまざまな人生観を感じ、涙は私たちのいろいろな心の揺れ動きを調整をする役割を果たしているのだと思えます。正解がない分、いろいろなことを想像し、時には楽しみながら読むことのできる1冊です。それぞれの文章は短いので、毎日少しずつ読み進められます。

**お気に入りの一文**  
 “涙は心のお洗濯。我慢しないで、どんどん流せ！”

次は、滝尾保育園 秋月 忍さん です お楽しみに！

# 味なランチ レポート



## 金なべ亭の 元祖チキン南蛮

大分市立桃園小学校近くにある「金なべ亭」は、昔ながらの洋食屋。店長は、宮崎県内のチキン南蛮発祥のお店で料理長をされていたそうです。名物のチキン南蛮は、衣はサクサク、中はジューシー！ 特製のタルタルソースは、見た目から想像するよりもずっとさっぱりした味わいです。ほかにもとり天やとんかつカレーなどガッツリ系のメニューばかりなので、しっかり食べたい方にはおすすめです。

レポート



滝尾保育園  
 ふじさき ちはる  
 滝崎 千春さん

## あの子に 会いたい

あの子に会いたい

森の木 後藤 拓也さん  
ごとう たくや  
 中学3年生 大学4年生

まじめで活発だった拓也さんは今、どうしてる？



2014年7月～2018年3月の4年間を「森の木」で過ごしました。「森の木」に来てから、人生が変わりました。生活のすべてが楽しく、みんなとキャンプに行ったことが良い思い出です。職員から大学進学の話聞き、高校2年生の時に大学院に行きたいと思いました。勉強を頑張り、大学に進学、大学院にも合格できました。将来は車の部品開発に携わりたいです。「森の木」での経験を自分の強みにしていきたいです。

同じ法人内でも関わるのがなかったら、とても勉強になり視野や考え方が広がりました。記事を読んで身近に感じてもらえたら嬉しいです。(重田 綾)

取材の中で色々な話を伺い、伝えたいことは山程ありますが、職員・利用者の明るく楽しい雰囲気が伝わるといいなと思います。(新川 絢女)